

事業計画書

<p>現在の地域課題に対する本事業での実施内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・佐久地域では核家族化が進み、子育てに不安を抱える保護者が孤立している ・経済的困難を抱える家庭や未就園児に対する支援の場が不足している ・佐久市子どもの権利条例の認知が低く、市民の子どもの権利への理解が不十分である <p>本事業では、多様な居場所づくりと食事・食料支援を通じて保護者の孤立と経済的負担を軽減し、子どもの権利啓発活動により地域全体で子どもを見守り支える環境を整備する。</p>
<p>対象となる人・範囲</p>	<p>対象:佐久市を中心に佐久地域の子育て世帯と子育てに関わる関係者</p>
<p>事業の効果、達成目標 (達成目標はできる限り数値で示すこと)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>記載ポイント</p> <p>事業の ・公益性</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・フードロスを活用した子ども食堂を定期開催し、栄養のある温かな食事と家族のような団らんの間を通じた、経済的困難を抱える家庭や未就園児を含む子どもたちの健全な成長を支援する。 ・商店街にあるレンタルスペースを活用することで、地域の賑わいづくりに寄与する。 ・子どもが保育園や学校に行っている間の時間に気軽に何でも話せる場を通じて、保護者の不安や悩みを軽減する。 ・フードバンク等と連携した子育て世帯向け食料配布イベントを学校の長期休みに開催し、50～100セットの食料や日用品の配布を実施する。 ・保育園、児童館・学童、学校、自主イベントでの子どもの権利に関する啓発活動を通じて、地域全体で子どもを見守り、多様性を認め合う包摂的なコミュニティづくりを推進する。 ・初年度は、参加人数のべ1,500人以上を目標とする。
<p>詳細</p> <p>(活動内容・方法・スケジュール等をできるだけ詳しく、別添資料のある場合はその旨を記載する)</p>	<p>【子ども食堂】ふるふいるダイニング、コミュニティダイナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月に1～2回程度、レンタルスペースにて実施。 ・子ども食堂は、大人500円以上のペイフォワード形式の寄付を呼びかける。 ・月に1回程度、大人1,500円（寄付歓迎）で温かな食事を囲むコミュニティダイナーを開催。子どもには無料または低額で栄養のある食事を提供し、家族のような温かな団らんの間をつくる。外国籍市民など多様な背景を持つ地域住民や多世代と一緒に食卓を囲むことで、子どもたちが地域の大人と交流し、保護者同士がつながり合える包摂的なコミュニティの場を目指す。 ・寄付の金額で支援できる子どもの数を可視化するフードリボンの仕組みを流用し、地域全体で善意の循環を実感できる仕組みにする。 ・おさがり会や裁縫ワークショップと一緒に実施することで、似た状況の保護者や、地域の子育ての先輩などに関われる機会を充実する。 ・商店街に呼びかけフードドライブを展開し、活動の認知を広めるとともに商店街の賑わい創出に寄与する。 <p>【子育て家庭の孤立予防の場づくり】「スナック愛」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月に1回程度、未就園児を持つ保護者や子育てに不安を抱える保護者が気軽に立ち寄れる居場所として、昼間にノンアルコールの飲み物を提供するスナック的な交流の場を実施。 ・子育ての先輩や似た状況の保護者同士が悩みや雑談を通じて自然にコミュニケーションできる環境を整え、必要な子育て支援情報を提供することで、孤立を防ぎ、深刻な状況になる前に適切な支援につながる予防的な場となることを目指す。 <p>【食糧配布イベント】ゼロ0大作戦!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月（夏休み）、12月（冬休み）、3月（春休み）の3回実施。 ・商店街で実施したフードドライブとフードバンクから受領した食料の配布とおさがり会を同時に実施することで、長期休み中の子育て家庭の経済的負担を軽減する。

	<ul style="list-style-type: none"> ・工作体験や子育て支援団体に子どもの遊びのブースを用意してもらうことで、保護者と子育て団体との繋がりをつくる。食料支援以外のブースを用意すること、ステイグマなく食糧を受け取れる場にする。 ・産後ドゥーラなど育児のプロによる託児を用意することで、未就園児をもつ保護者の相談に的確に対応し、疲労・不安・孤立を解消する。 <p>【子どもの権利啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月に1回程度、保育園・児童館・学童、学校などを訪問し、子どもの権利すごろく、紙芝居、絵本読み聞かせなどを実施。子どもと子どもに関わる大人が権利を知ること、子どもが虐待や貧困などの困りごとを周りの大人に相談しやすい環境をつくる。 ・こどもの相談窓口を書いたオマモリカードを配布し、いつでも安心できる「お守り」として持ち歩いてもらうことで一人で抱え込まずに助けを求められる環境を作る。
<p>重点テーマに該当する理由</p>	<p>本事業は、子ども食堂「ふるふいるダイニング」「コミュニティナー」を通じて子どもに無料または低額で栄養のある温かな食事と家族のような団らんを提供し、外国籍市民を含む多様な地域住民や多世代と一緒に食卓を囲むことで、既存の枠にとられない新たな交流機会を創出します。「ゼロ0大作戦!」では食料配布に加えておさがり会や裁縫ワークショップを同時開催し、初めて会う保護者同士が手を動かしながら自然にゆったりと会話できる環境をつくります。子育て支援団体との繋がりづくりを通じて、様々な事情を抱える保護者が必要な支援につながる予防的な場を実現します。子どもの権利啓発や商店街でのフードドライブを通じて地域全体で子どもを見守り支える包摂的なコミュニティづくりを推進します。また、未就園児を持つ保護者が気軽に立ち寄れる「スナック愛」では、孤立しがちな保護者だけでなく固定した保護者コミュニティの息苦しさを感じている保護者にも息抜きの場を提供し、多様な子育て支援ニーズに応えることで、佐久市子育て支援課の重点目標である「子どもや保護者の居場所をつくる取組」の全ての要素を包括的に実現します。</p>
<p>翌年度以降の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度以降も、長期休み前の食料支援イベントを継続開催する。 ・商店街の空き店舗等を活用した拠点作りを検討している。